

道場からの便り「道場紹介」(7)・・・長崎日見剣友会(長崎市)

昭和50年4月に日見地区の少年・少女の健全育成を目的に故宮本祐蔵先生の指導で発足しました。厳しい稽古で定評があり、大会では好成績をおさめていました。OB・OGには活躍された方々が沢山います。今も活躍されておられ、剣友会の自慢です。

平成14年7月に病気で亡くなりました。4月からは富永和美先生を指導者に迎え、基本を重視した稽古に取り組んでいます。なかでも日本剣道形を毎週、金曜日に実施して日本剣道形の修得を図り、中学生と小学生6年生には小太刀3本まで10本を修得させています。また、木刀による基本稽古法も交互に稽古しています。正しい姿勢で打突できるような剣道を目指しています。

精神面では礼儀正しい、感謝のできる人、思いやりのある優しい人となるよう、礼法、返事など厳しく指導されています。

1. 道場訓 「明るく強く、頼もしくをモットーに」

- 1) 礼儀正しくします。
- 2) みんなに感謝します。
- 3) 正しい行いをします。
- 4) 友達と仲良くします。
- 5) 社会に役立つよう人間形成に努めます。

と定め、稽古前に大きな声で唱和しています。

平成16年からは子ども達に日見地区の自分たちの住む街を美しく、感謝する気持ちを養うため、保護者と共に月に1回、清掃をするボランティア活動を実施しています。年1回、山登りやバーベキュー等のレクリエーションも実施しています。2月11日には武道始を実施し、高ポイント試合や、親子大会等を実施して盛り上がっています。級位審査も兼ねています。

剣道人口減少対策として、体験会やピラを作成し、幼稚園や小学校に配布をしたり、商店や公民館にピラを掲示してもらい、増員を図っています。又、OB・OGに葉書を出して、剣道再開や子供さんへの推奨を図ってのレター作戦を実施しています。一昨年はOB・OGの方が稽古に見え試合にも参加されました。昨年はコロナ禍で稽古に来たいと言ったOGも帰省することができずに残念でした。やれることをいろいろと考えて智恵を出し、対策を知らないと大変な事態になると危機感を持っています。

2. 指導者

- 1) 師範 富永和美(剣道教士七段)
- 2) 指導者 品川浩実(剣道五段)、小ヶ倉康宏(剣道教士七段) 浦田昌典(剣道教士七段)、中里茂(剣道教士七段)
野上正治(剣道教士七段)、会長 阿保貴章先生(OB 剣道五段)
師範の指導方針に沿って、暇を見て稽古にかけつけ、厳しい中にも楽しい指導に当たっておられます。

3. 稽古日 週6日間となり、塾に行っている子どもは塾以外の日にこれると好評です。

- 1) 月・水・金 日見小学校体育館 18:00～20:00
- 2) 火・木 日見中学校武道場 18:00～19:30
- 3) 土 日見中学校武道場 16:00～18:00 となっています。

4. 連絡先 部長 倉富宏美 090-7163-7364

皆さん日本の伝統文化である剣道をやって、身体と心を鍛えてみませんか？待っています。



道場での集合写真



基本を大切にした稽古を指導



公民館祭りで剣道形を演武する子ども達



青少年健全育成 ボランティア活動



ボランティアでコロナに負けない日見っ子



「鬼滅の刃」竈門禰豆子